

平成 26 年度

(第 2 / 3 回)

(課題別研修)

アフリカ地域

小規模農民のための複合農業

実施要領

平成 26 年 10 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	4
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	5

参考資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程（案）

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(課題別研修) アフリカ地域 小規模農民のための複合農業

英文：Group and Region Focused Training Program on
“Mixed Farming for Small Scale Farmers in Africa”

(2) 受入期間

平成 26 年 10 月 21 日 (火) ～ 12 月 19 日 (金)

(3) 技術研修期間

平成 26 年 10 月 27 日 (月) ～12 月 18 日 (木)

(4) 受入人数、割当国

受入人数：16 名

割 当 国：チャド、ケニア、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、タンザニア、
ジンバブエ、ザンビア、(下線は受入国)

(5) 使用言語：英語

2. 案件の背景・目的

天水に頼った小規模農業を行っている農民が多いアフリカの国々においては、干ばつにより、穀物の生産量が極端に低下し食糧の確保が難しくなることがある。また、たばこやコーヒーなどの輸出に頼る作物は、国際価格の変動に農民の所得が大きく左右される不安定な状況をつくっている。

単一作物あるいは単一家畜による経営は、作業効率は良いものの経営体力のない小規模農家にとっては大きなリスクがある。こうした危険性を回避するために、主食である穀類や輸出換金作物に加えて、野菜や果樹の生産、家畜や鶏の飼育、養殖などに挑戦する小規模農家は多いが、知識と技術の不足から必ずしも十分な生産を上げられていない。

例えば化学肥料の使用は穀物の収量を増加させる一方で土壌劣化のリスクも含んでいる。もし農民が有機肥料の活用に関する知識を持っていれば、化学肥料を使用するよりも少ないコストで穀物の栽培が出来、さらには土壌の肥沃度を高められる可能性もある。

政府のサービスは主食である穀物や輸出換金作物に集中する傾向があり、個々の小規模農家のリスク分散に対応できていない。普及員の多くは特定の専門に特化しており、農家が期待する広く浅い複合農業に対応できるような者は少ない。

本案件は3つのコンセプト、それぞれ 1：穀物、家畜、水産の農業形態を理解し、これらの組み合わせる有効な計画を立てる。 2：普及員・農業者の資質向上 3：市場参画への思慮、 から構成され、参加研修員はそれぞれの学びと経験を帰国後に同僚や上司に共有し、それぞれの地域に合った作物や家畜などを組み合わせた複合農業を提案し実行することが期待されている。

3. 案件目標

小規模複合農業の実践に必要な知識を習得し、これを活かして対象地域の状況にあった複合農業の実施方法や普及計画（案）を提案する。

※上位目標：地方政府レベルによる農業農村開発プログラムにおいて、複合農業というコンセプトを生かした施策により、小規模農民の生計が改善される。

4. 単元目標

- (1) 複合農業を構成する農作物栽培や家畜飼育に係る基礎的な技術を理解する。
- (2) 複合農業の長所と短所を理解し、農業経営として複合農業を実施する際に考慮すべき事項について理解する。
- (3) 市場への参画を考慮した複合農業の実施方法を理解する。
- (4) 市場への参画を考慮した複合農業の普及活動計画（案）を策定できる。

5. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書（Inception Report）」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題や、それに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「中間報告書（Interim Report）」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に行動計画（案）を作成し、コース終盤に発表する。

- (3) 帰国後の事後活動

「最終報告書（Final Report）」の作成

研修員は帰国後3か月以内に、中間報告書に書かれた行動計画（案）を所属組織に報告し、所属組織からのコメントを独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（帯広）（以下、JICA 北海道（帯広））に報告する。JICA 北海道（帯広）は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

6. 研修員参加資格要件

募集要項記載条件

- (1) 農業省等で営農指導や営農計画などの政策に携わる若手職員
- (2) 農業あるいは畜産の若手普及員
- (3) 農業者へ技術指導する立場にある組織のスタッフ

各案件共通資格要件

- (4) 所定の手続きにより割り当て国政府から推薦されること。
- (5) 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- (6) TOEFL iBT 100 点以上に相当する英語能力を有すること。
- (7) 心身ともに健康なこと。
- (8) 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、JICA 北海道（帯広）が研修コースを計画し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中は、JICA 登録の研修監理員を配置する。具体的業務は次のとおり。

- (1) 実施計画書作成（案件目標、研修期間等）
- (2) 日程表の調整・作成
- (3) 講師、視察先等への連絡・確認
- (4) テキスト、資料等の手配
- (5) 実施予算の執行管理
- (6) 通訳・翻訳（研修監理員による対応）
- (7) 評価 等

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に単元目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による単元目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道（帯広）、コースリーダー、講師等が参加し、研修の目標・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に北海道国際センター（帯広）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

日本の政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 4.5 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
10 月 22 日（水） 23 日（木）	ブリーフィング ジェネラルオリエンテーション 日本語講習（夜間）
27 日（月）	日本語講習（夜間）

10. 主な宿泊場所

北海道国際センター（帯広）

所在地：〒080-2470 帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上

平成26年度「アフリカ地域 小規模農民のための複合農業」研修日程(案)

月日	曜日	時間	形態	単元	プログラム	講師(敬称略)	所属	研修場所
10月21日	火				来日			
10月22日	水	9:30-12:00 13:00-15:30			集合ブリーフィング	JICA		JICA北海道(帯広)
		15:30-16:30			インセプションレポートガイダンス ・ベトナムビザ申請及び日本再入国に係る申請書作成	JICA(案件担当)	JICA北海道(帯広)	
		18:00-19:30			日本語講習			
10月23日	木	9:30-17:15			オリエンテーション「日本の政治・行政機構」			JICA北海道(帯広)
		18:00-19:30			日本語研修			
10月24日	金				日本再入国手続き(札幌)			札幌入国管理局
10月25日	土				休日			
10月26日	日				休日			
10月27日	月	9:00-10:00	講義		コースオリエンテーション	耕野 拓一	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		10:30-12:00	発表	導入	インセプションレポート発表会	JICA / 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA/ 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
		13:00-16:30	発表	導入	インセプションレポート発表会	JICA / 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA/ 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
		18:00-19:30			日本語研修			JICA北海道(帯広)
10月28日	火	9:30-12:00	講義 視察	導入	十勝の農業/農機具の歴史	米倉 進	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター/ 農機具歴史館
		13:00-16:00	実習	1	野菜作りの基礎①	メイン)中村 嘉秀 サブ)洲上 正春、中井 敬二	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター
10月29日	水	9:30-12:00	講義	1	土壌分析入門	谷 昌幸	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:00-15:30	講義	1				
10月30日	木	9:30-12:00	講義	導入	日本・北海道の農業概論及び農業組織	河野 洋一	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		14:00-15:00	視察	2	効果的な堆肥活用事例	谷 昌幸	帯広畜産大学 JA十勝清水町	JA十勝清水町 堆肥化施設
10月31日	金	9:30-12:00	講義	1	野菜作りの基礎②	中村 嘉秀	帯広市農業振興公社	帯広市農業技術センター
		13:30-16:00	実習	1	野菜作りの基礎③	メイン)中村 嘉秀 サブ)洲上 正春、中井 敬二		
11月1日	土				休日			
11月2日	日				休日			
11月3日	月				休日			
11月4日	火	10:00-12:00	講義	2	北海道の普及事業～試験場との連携	鈴木 善和	北海道農政部生産振興局技術普及課 畜産試験場技術普及室	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-16:30	講義	1	PDマニュアル①導入	耕野 拓一	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502室
11月5日	水	9:30-12:00	実習	1	PPTの作成技術	三芦 拓生	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-17:00	実習	1	PDマニュアル①導入	窪田 さと子	帯広畜産大学	
11月6日	木	9:30-12:00	講義 実習	1	家畜飼料①	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学
		13:00-15:30	実習		家畜飼料 サイレージづくり (PDマニュアル②実習)	西田 武弘 窪田 さと子	帯広畜産大学	帯広畜産大学
11月7日	金	9:30-12:00	実習	1	PDマニュアル③作成	石渡 真紀		JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-16:00	実習		→完成後、西田先生に内容確認を依頼			
11月8日	土							
11月9日	日							
11月10日	月	9:30-11:30	視察	3	ヤギの飼養管理と乳製品の加工販売	腰山 通彦 / 真理	香林農園	香林農園
		13:30-16:30	討論	4	単元 I 振り返り/レポート作成指導(ガイダンス)	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502室
11月11日	火	9:30-12:00	講義	2	1.複合農業の基礎概念 2.マラウイの事例について	耕野 拓一	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2502室
		13:30-15:30	講義	導入	農業におけるJAの役割	石山 隆幸	JA帯広かわにし	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
11月12日	水	9:30-12:00	講義	1	家畜管理①	手塚 雅文	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		14:00-15:30	視察	2	複合農業の事例 ～畑作と酪農～	堀川 寛 / 堀川 拓矢	堀川農場	堀川農場(十勝清水)
11月13日	木	9:30-12:00	講義	1	家畜管理②	手塚 雅文	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-15:30	視察	3	複合農業と市場参画の事例(肉牛と畑作、カフェ)	大野 泰裕	大野ファーム	大野ファーム(芽室)
11月14日	金	9:30-12:00	講義	1	家畜管理③	手塚 雅文	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		14:00-15:30	視察	3	市場参画の事例(養豚技術と加工販売)	大美浪 源	源ファーム	源ファーム
11月15日	土							
11月16日	日							
11月17日	月	9:30-12:00	講義	3	6次産業化と市場参画	耕野 拓一	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2501室
		13:30-15:30	視察	3	市場参画の事例～雑草からテンキを商品化	中村 良子	中村農場	中村農場(帯広市以平)

平成26年度「アフリカ地域 小規模農民のための複合農業」研修日程(案)

月日	曜日	時間	形態	単元	プログラム	講師(敬称略)	所属	研修場所
11月18日	火	9:30-12:00	講義	1	家畜飼料②	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学
		13:30-16:00	講義	3	市場参画の事例(ベリーの生産・加工・販売)	嶋崎 伊吹	ときいろファーム	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
11月19日	水	9:00-12:00	視察		中札内道の駅(直売所)、忠類道の駅(直売所)大樹町直売所/食品加工施設	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	視察先
		13:30-16:00		3	市場参画の事例(大根生産とチーズ販売)	野矢 敏章	野矢農場	野矢農場
11月20日	木	9:30-12:00	講義	2	地域複合農業 概論	窪田 さと子	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		13:30-15:30	視察	2	酪農家視察	藤田 均 西田 武弘	カントリーファーマーズ藤田牧場 帯広畜産大学	藤田牧場
11月21日	金	9:00-11:00	討論		振り返り	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2501室
		11:00-12:30	講義	2	ベトナム研修概要説明	耕野 拓一 JICA案件担当者	帯広畜産大学 JICA	
		14:00-16:30	講義	1	羊の飼養管理	河野 博英	独立行政法人家畜改良センター 十勝牧場	JICA北海道(帯広)
11月22日	土	9:30-12:00	実習	3	マーケティング入門 ワークショップ「経営教育と経営論」	坪井 真一	インサイトマネジメント株式会社	JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
		13:00-16:30	講義					
11月23日	日							
11月24日	月							
11月25日	火	AM	移動		帯広→羽田→成田(成田空港到着後に両替)			
11月26日	水				成田 → ホーチミン → フエ			
11月27日	木	10:00-12:00	講義	2	Course Guide Lecture		Hue College of Economics(HCE)	Hue College of Economics
		13:00-16:00	講義	2	Vietnam Agriculture		Hue College of Economics(HCE)	
11月28日	金	8:00-11:00	講義	2	Mixed small scale farming and VAC system in Vietnam		Associated Professor from Hue University of Agriculture and Forestry (HUAF)	Hue College of Economics
		13:00-16:00	視察	2	Field Trip (typical VAC system in Thua Thien Hue province)		Associated Professor from HUAF/HCE	Thua Thien Hue province
11月29日	土							
11月30日	日							
12月1日	月	8:00-11:00	講義	2	Mixed small scale farming and VAC system in Thua Thien Hue Province		Associated Professor from HUAF	Hue College of Economics
		13:00-16:00	視察	2	Field Trip (Household)		Associated Professor from HUAF/HCE	Thua Thien Hue province
12月2日	火	8:00-11:00	講義	2	Extention service in Vietnam and Thua Thien Hue province		Agriculture,Forestry and Fishery Extention Center of Thua Thien Hue province	Thua Thien Hue province
		13:00-16:00	視察	2	Field Trip (Small Scale Biogas System)		Associated Professor from HUAF/HCE	Thua Thien Hue province
12月3日	水	8:00-11:00	視察	2	Market access		Hue College of Economics(HCE)	Hue College of Economics
		13:00-16:00	視察	2	Observation of Local Markets		Hue College of Economics(HCE)	Hue City
12月4日	木	8:00-11:00	討論	2	Discussion		Hue College of Economics(HCE)	Hue College of Economics
					Leave Hue City			
12月5日	金				成田→羽田→帯広			
12月6日	土							
12月7日	日							
12月8日	月							
12月9日	火	9:30-15:30	実習	3	農産物加工(トマトジャム作り)	澤田 清美 小崎 浩	澤田ファーム 帯広畜産大学	大平原交流センター
12月10日	水	9:00-12:00	講義	3	アフリカ地域における食品加工の事例	小崎 浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 I号館E2501室
		13:30-16:30	実習					
12月11日	木	10:00-11:30	実習	1	家畜飼料③ サイレージの確認	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 帯広畜産大学 I号館E2501室
		13:00-16:00	討論	4	単元Ⅲ振り返り/レポートガイダンス	耕野 拓一 / 小崎 浩		
					レポート(アウトライン)作成(個別作成) 提出17:00まで			
12月12日	金	9:00-12:00		4	レポート指導(全体)	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-16:00		4	レポート作成(自主学習)			
12月13日	土							
12月14日	日							
12月15日	月	9:00-12:00		1	PDマニュアル④発表	耕野 拓一 / 小崎 浩 / 西田 武弘 / 窪田さと子	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:00-14:00		1	PDマニュアル⑤製本	石渡 真紀		
		14:00-16:00		4	レポート作成(自主学習)			

平成26年度「アフリカ地域 小規模農民のための複合農業」研修日程(案)

月日	曜日	時間	形態	単元	プログラム	講師(敬称略)	所属	研修場所
12月16日	火	9:30-12:00		4	レポート指導(個別)	耕野 拓一 / 小崎 浩	帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4/PCルーム1
		13:30-16:00		4	(個人で作成) レポート提出16:00			
12月17日	水			-	学校訪問			池田町立利別小学校 音更町立昭和小学校
12月18日	木	9:00-10:00		4	評価会	JICA/ 耕野 拓一 / 小崎 浩	JICA / 帯広畜産大学	JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		10:00-12:00			インテリムレポート発表会			JICA北海道(帯広) オリエンテーションルーム
		13:00-16:00						
		16:00-16:30			閉講式			JICA北海道(帯広) セミナールーム4
		16:30-17:00			閉講パーティー			JICA北海道(帯広) 会議室
12月19日	金				帰国			

年度別受入実績表

1. 応募／選定(受入)人数

	平成25年度	平成26年度	累計
応 募 数	18名	25名	43名
受 入 数	13名	16名	29名

2. 国別受入人数

○男性 ●女性

国 名	平成25年度	平成26年度	累計
チャド	●	○	2名
ケニア	●●	○●	4名
マラウイ	●	○●	3名
モザンビーク	○	○●	3名
ナミビア	○●	○●	4名
タンザニア	○○	○●	4名
ザンビア	○○○	○○○	6名
ジンバブエ	○	○●	3名
合 計	8カ国 13名	8カ国 16名	8カ国 29名



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター(帯広)
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL:0155-35-1210 FAX:0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp